2023.5.1現在

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
福岡こども専門学校	平成25年4月1日	岩本　克也	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-31 （電話）092-433-0281
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人　三幸学園	昭和60年3月8日	昼間　一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は学校教育法及び私立学校法の規定に基づき保育の関連分野に従事しようとする者に必要な知識と技術を教授し、それらの分野において専門的職業人となるべき人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
保育科	2年	156人	312人
こども総合学科	3年	80人	240人

＜客観的な指標の算出方法＞

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

＜卒業要件について＞

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められたものに、卒業の認定を行う。所定の単位は以下のとおりとする。 （１）卒業要件単位数は、３１単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。 （２）卒業に必要な要件については、別表のカリキュラムのとおりとする。	
保育科	学園の教育理念に基づき、２年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術を習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる
こども総合学科	学園の教育理念に基づき、３年間の学修を通じて、保育・福祉・教育の現場で必要な専門知識・技術を修得し、さらに専門性を高めて実践力と自身の強みを向上させ、皆から信頼、感謝される態度・人間性を身につけ、社会でこどもの未来を育む人財に専門士を授与する。卒業までの学びの到達目標は以下の通り設定される。 （１） 専門的な知識・技術の習得 こどもに対する愛情を持ち、保育と子育てに関する専門的知識や技術、こどもに関する教養やスキルを習得するとともに、生涯にわたって学び続けようという姿勢を持つことができる （２） 現場で活躍できる実践力 学んだ知識や技術を活用し、周囲と連携しながらこども一人一人に合った保育を実践し、質の高い保育の実践や社会の発展を求めて成長し続けることができる （３） 皆から信頼される人間性 社会人として必要な挨拶、マナーを身につけ、素直な心・感謝の気持ち・高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで社会に貢献することができる

＜取得可能な資格について＞

取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/jobdata/skill.html

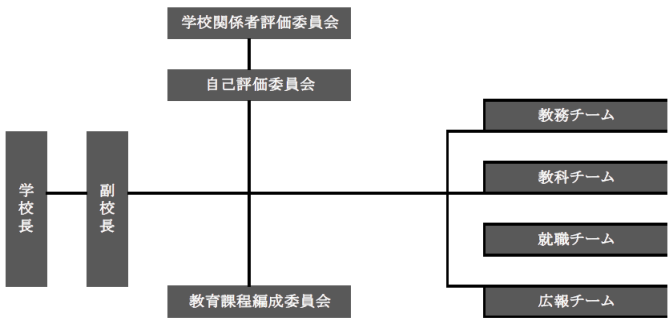
＜卒業後の主な進路について＞

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/jobdata/jobdata.html

③教職員

専任教員	27
兼任教員	18
事務職員	3

教職員の組織



＜教職員の専門性について＞

名前	専門分野	資格・職歴等
河野由紀子	保育	保育士・幼稚園教諭/保育園勤務および保育士養成校教諭
新谷　和委	保育	保育士・幼稚園教諭/幼稚園勤務および保育士養成校教諭
福田　憲彌	保育	保育士・幼稚園教諭/保育園勤務にて現在園長職
高松　秀幸	一般教養	中高英語一種免許/幼稚園勤務にて園長職および職業訓練校校長
木下　亜紀	音楽	中高音楽一種免許/ピアノ教室開業

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/course/practice/
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 ＜保育科　保育実習＞ 10日間（90単位時間）の体験実習を保育所および、保育所以外の施設にて行う。保育実習は、その習得した教科全体の知識、技術を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の倫理と実践の関係について習熟させることを目的とする。実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜指導を行う。また、終了後には事後指導にて、実習の振り返りを実施し、評価に基づいたフィードバックおよび、今後の課題設定をを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/schoolguide/year.html

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。 また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/guidelines/pdf/2404_c_1.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-child/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf